


取扱説明書



AMI-002944-002  
2019年7月第2版

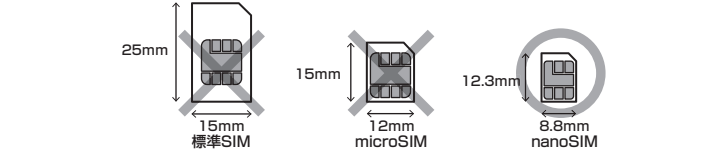


**本書は、読んだあと大切に保管してください。**

技術基準適合認証品

## nanoSIM カードの取り付けについての注意

本商品は nanoSIM カード専用です。サイズの異なるものは取り付けることができません。



SIMカードのサイズが合わない場合は、ご契約の通信事業者へご相談ください。

※異なるサイズのSIMカードをnanoSIMサイズにカットしたものを挿入しないでください。挿入したカードが抜けなくなったり、nanoSIMカードスロットが故障する原因となります。

## SIMロックについての注意

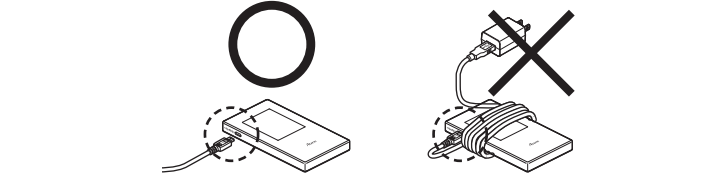
本商品は、SIMロックをかけていません。

- NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）にて接続確認を行った通信事業者の情報は、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のサポートページを参照してください。
- 当社にて独自に特定の環境で基本動作や接続動作を確認したものであり、すべての環境で機能・性能・信頼性を保証するものではありません。また、当社では、サポートページに掲載されていないサービスのnanoSIMカードを挿入して利用される場合について、動作確認などを実施しておらず、一切の動作保証を行いません。サポートページに掲載されていないサービスのnanoSIMカードを挿入して利用される場合、ご利用いただけるサービスなどが制限されることがあります。また、サポートページに掲載されていないサービスのnanoSIMカードを挿入し、利用することに伴って発生した、いかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

## ご利用上の注意

ACアダプタやUSBケーブルを接続したまま本体にケーブルを巻きつけないでください。

プラグ部分に無理な力がかわり続けた場合、故障の原因となることがあります。



## メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。

「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。

メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用は、お客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。

本機能は、工場出荷時に有効（「使用する」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（「使用する」のチェックを外す）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にバージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

- ＜無効にする方法＞
- クイック設定 Web を起動する
    - ☛「つなぎかたガイド」【クイック設定 Web の起動方法】を参照してください。
  - 「ユーザー名」（上段）には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」（下段）にはお客様が設定した管理者パスワードを入力する
  - 「詳細設定」－「その他の設定」を選択する
  - 【補助設定】にある【メンテナンスバージョンアップ機能】の【使用する】のチェックを外す
  - 【設定】をクリックする

## 安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

**危険**：人が死亡する、または重傷（※ 1）を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

**警告**：人が死亡する、または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**：人が軽傷（※ 2）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。

（※ 1）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。

（※ 2）軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。

（※ 3）物的損害：家屋、家財および家畜、ペットなどにかかわる拡大損害をさしています。

サポート案内は「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」と記載されている場合があります。

## 警告

### 本体、電源、設置場所

- 日本国内 AC100V～240V（50/60Hz）の家庭用電源以外では使用しないでください。本商品に添付の AC アダプタは日本国内 AC100～240V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。また、重いものをせたり、加熱したりすると AC アダプタのコードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線で使用しないでください。たこ足配線でするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品や AC アダプタにものをせたり布や毛布などを掛けたりしないでください。過熱し、ケースや AC アダプタのコードの被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- 本商品の AC アダプタは屋内専用ですので、屋外で使用しないでください。雨水などがかかったり、ほこりなどの混入による、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜け止め型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力かけないように注意してください。AC アダプタが割れたり、壊れたりする場合があります、火災、感電、故障の原因となります。

### nanoSIM カード

- nanoSIM カードを本商品へ取り付けや取り外す際は、必要以上の力を加えないでください。手や指を傷つけたり、故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。nanoSIM カードを誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

### こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のお客様相談窓口にご連絡ください。お問い合わせによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の USB ポートに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- AC アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のお客様相談窓口にご連絡ください。

- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

## 禁止事項

- 本商品は業務用ではなく家庭用の電子機器として設計されており、人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。本商品に不具合が発生した場合、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 本商品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。
- 本商品の USB ポートに変形した USB コネクタを接続しないでください。火災や故障の原因となります。
- 本商品の USB ポートに接続する際は、無理に力を加えないでください。火災や故障の原因となります。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

### 医用電気機器の近くでの取り扱いについて

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は 15cm 以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本商品の電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - 手術室、集中治療室（ICU）、冠狀動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
  - 病棟内では、本商品の電源を切ってください。
  - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切ってください。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしてください。
- 自宅療養などで医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

### その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 自動車やエレベータ、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに使用を中止してください。安全走行や安全運行を阻害する恐れがあります。
- 本商品は、無人運用を目的とした商品ではありません。本目的でのご使用中に、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。ご了承ください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本商品がぬれないようにご注意ください。水や液体が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 引火や爆発の恐れがある場所（ガソリンスタンドなど）や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。
- 風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。また、水や飲料水、ペットの尿などでぬらさないでください。漏電して、火災、感電、故障、やけど、けがの原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 車両の運転中に本商品を操作しないでください。交通事故の原因となりますので、車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

## 注意

### 本体、設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - じゅうたんや布団の上に置く
  - テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。重ね置きや上部にものを置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ポケットの中に入れて使用したり、皮膚に触れた状態で使用しないでください。低温やけどを起こす可能性があります。

### ACアダプタ／USBケーブル

- ACアダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。コードときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。ACアダプタの抜きを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- ACアダプタを水や海水、ジュースなどでぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙『お問い合わせ・アフターサービス』記載のお客様相談窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ACアダプタの電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後に AC アダプタが高温になる場合があります。やけどなどの恐れがありますので注意してください。
- USBケーブルは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の USB ケーブルは、他の製品に使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- USBケーブルの両端の根元を強く引っ張ったり、曲げたり、コードを機器に巻きつけたりしないでください。

### 禁止事項

- 無理な力がかかるところ（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。破損、故障の原因となります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、ACアダプタのコードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- クレジットカードなどを本商品に近づけないでください。磁気カードのデータが消える恐れがあります。
- 充電体カバーを外したまま使用しないでください。充電体パックが外れたり、故障、破損の原因となります。

### microUSB コネクタ

- microUSB コネクタなどにゴミやほこり、金属片などの異物を絶対に入れないでください。故障や記録内容の消失の原因となります。

### nanoSIM カード

- 落としたり、ぬらしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものをのせたりしないでください。故障の原因となります。
- 火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用したり、放置しないでください。変形、データの消失など故障の原因となります。
- 他の製品の IC カードリーダーなどに nanoSIM カードを取り付けしないでください。故障の原因となります。故障した場合、お客様の責任となり、当社では一切の責任を負いません。
- nanoSIM カードの金属部を傷つけたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIM カードは本来の用途以外の方法で使用しないでください。データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIM カードの金属端子部分は汚さないでください。故障の原因となります。汚れたときは乾いたやわらかい布などでふき取ってください。
- nanoSIM カードを取り外すときは、本商品の電源を切ってから、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込み、すぐに指を離さないでください。nanoSIM カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて急に指を放すと、カードが飛び出して危険です。

### ディスプレイ

- ディスプレイにものを当てたり、強く抑えたり、本体を落としたりすると割れることがあります。故障の原因となります。
- 万一、ディスプレイが割れた場合は、ディスプレイから漏れた液体には絶対に触らないでください。感電やけがなどの原因となります。
- ディスプレイを強い力でこすったり、押ししたり、とがったものや固いもので突かないでください。けがや故障の原因となります。
- つめをたてて操作しないでください。けがや故障の原因となります。
- ディスプレイに砂埃やゴミなどをつけないように注意してください。つい場合は、やわらかい乾いた布などできれいにふき取ってください。そのまま使用されますと、ディスプレイに傷がつき故障の原因となります。

### その他の注意事項

- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用すると、低温やけどになることがあります。
- 皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。
- 小児が使用する場合は、保護者取り扱いの方法を教え、使用の途中においても、指示どおりに使用しているかどうか注意してください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。
- お客様ご自身で本商品に登録された情報は、別にメモを取るなどして保管してください。万一、お客様がご自身のお願いにより、登録された情報が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 自動車の電子機器に影響が出る場合は、使用しないでください。安全に走行できなくなる恐れがあります。



## リチウムイオン電池の取り扱いについて

## 危険

- 水・海水・ジュースなどでぬらさないでください。充電電池パックに組み込まれている保護機構が壊れると、異常な電流、電圧で充電電池パックが充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- ストーブなどの熱源のそばに放置したり、火のそばや、炎天下の車内などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護機構が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電電池パックは、本商品に取り付けて、「つなぎかたガイド」に記載された方法で充電してください。それ以外の方法では充電しないでください。他の充電器などで行うと、充電電池パック内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス (+) ・マイナス (−) の向きが決められています。本商品に取り付けるときにうまく入らない場合は無理に取り付けしないでください。プラス・マイナスを逆に取り付けると、充電電池パックが逆に充電され内部で異常な反応が起こったり、または放電時は異常な電流が流れる可能性があり、充電電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックは直接電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に取り付けしないでください。感電したり、高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、充電電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 本商品には充電電池パック(ラベルに「AL1-004806」と記載されているもの)を添付しています。指定の充電電池パック以外の充電電池パックを使用しないでください。漏液、発熱、破裂、発火、機器本体の故障の原因となります。
- 充電電池パックは、本商品専用です。指定機器以外の用途に使用すと、機器によっては異常な電流が流れ、充電電池パックが破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷したりするだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電電池パックのプラス (+) とマイナス (−) とを金属で接続しないでください。またネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。充電電池パックがショートし、過大な電流が流れ、発熱、破裂、発火、あるいはネックレス、ヘアピンなどが発熱する原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたり、釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが変形、充電電池パックに組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電電池パックが充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電電池パックに直接はんだ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護回路が損傷し、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックには危険を防止するためのガス排出弁や保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

## 警告

- 本商品および充電電池パックは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。不用意な取り扱いには危険をともないます。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電電池パックの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他今まで異なることに気がついたときは、本商品より出して、使用しないでください。使用を継続すると充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因になる恐れがあります。
- 充電電池パックが漏液したり異臭がするときは、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。
- 膨れた充電電池パックを本商品に無理に取り付けしないでください。充電電池パックが変形し、内部や組み込まれている保護機構が壊れ、そのまま使い続けると、火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ペットなどが充電電池パックに噛みつかないようにご注意ください。充電電池パックの漏液・発熱・破裂・発火により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

## 注意

- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。充電電池パックを漏液させる原因になる恐れがあります。
- 危険防止のため保護機構が組み込まれています。保護機構に損傷を与える可能性のある静電気が発生する場所で使用しないでください。保護機構が壊れ発熱、破裂、発火の原因となる恐れがあります。
- 充電電池パックの充電温度範囲は、0℃～35℃です。この温度範囲以外での充電は充電電池パックを発熱、破損させる原因になる恐れがあります。
- 充電電池パックを使用する前に、本書および『つなぎかたガイド』をお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 充電電池パックの充電方法については、『つなぎかたガイド』をよくお読みください。
- 充電電池パックをお買い上げ後、初めてご使用する場合に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないで、お買い上げの販売店にご持参ください。

- 充電電池パックの充電や放電中に、可燃物を上にのせたり、覆ったりしないでください。充電電池パックを発熱、破裂、発火させる恐れがあります。
- 充電電池パックが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- 充電電池パックを保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の充電電池パックや金属製のもの混ぜないようしてください。

## お知らせ

- ACアダプタを使用している場合でも、充電電池パックは徐々に劣化します。長時間 AC アダプタをつないだ状態にしていると、充電電池パックの劣化を早めてしまいます。本体を使用していないときで、充電電池パックを充電していない場合は、ACアダプタを外してください。
- 長期間（半年以上）お使いにならない場合、電池特性を維持するため半年に一度は電池残量を確認し、40%程度充電することをお勧めします。充電電池パックが電池残量なしの状態で長期間保管しますと、充電できなくなる場合があります。（保管されている温度により充電できなくなるまでの期間が変わります。）
- ご使用の条件により、寿命が近づくにつれて充電電池パックが膨れる場合がありますが、安全上問題はありません。
- 必要に応じてロングライフ充電機能をご利用ください。充電電池パックの劣化を遅らせることができます。（ロングライフ充電機能の設定方法は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。）



#### 使用済み充電電池パックの処理

- 充電電池パックの金属端子は、ビニールテープなどで必ず絶縁してください。ショートにより発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電電池パックは、絶対に解体しないでください。解体すると金属端子が露出し、ショートの原因となります。
- ご使用済みの充電電池パックは一般家庭ゴミとして棄てないで、「充電電池パックのリサイクルについて」にしたがって処理してください。棄てられた充電電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

### 充電電池パックのリサイクルについて

本充電電池パックは、リチウムイオン電池です。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったリチウムイオン電池は廃棄せず、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お買い上げいただいた販売店またはリサイクル協力店へお持ちください。

※ 充電式電池のリサイクルの取り扱いについては、一般社団法人 JBRC ホームページ https://www.jbrc.com/（2019年7月現在）を参照してください。

	充電電池パック (AL1-004806) (1UF575559S-B009A)
	公称電圧：3.8V
	公称容量：2500mAh

### 充電電池パックのご利用上の注意

- 充電電池パックの寿命は、お客様のご利用環境により変わります。いざという場合に備えて、早めの交換をお勧めします。
- 新しい充電電池パックは、Shop@Aterm（https://shop.aterm.jp/）でお買い上げください。
- 充電電池パックは消耗品です。満充電時でも、約 1 時間しか使用できなくなった場合は、充電電池パックの寿命が考えられますので、充電電池パックの交換をお勧めします。
- 本商品を保管される場合は、充電電池パックの性能や寿命を低下させないために、次の点にご注意ください。
  - 電池残量が十分にある状態で充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、20%程度になってからの充電をお勧めします。
  - 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管はしないでください。
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程度消費している状態）での保管はしないでください。
  - 落とさないでください。強い衝撃を与えると、激しく劣化したり、故障の原因となります。
  - 高温になる場所に置かないでください。長期間保管する場合は、涼しい場所に置いてください。
- 電池保護のため、高温になったら充電を停止することがあります。
- 停電復旧後、電池保護のため充電が再開されない場合があります。その場合は、USB ケーブルの抜き差しを行ってください。充電が再開されます。

### ご注意

- 本商品のマニュアルの内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。
- 本商品のマニュアルの内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品のマニュアルの内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。本商品のマニュアルをよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。
- Wi-Fi と Bluetooth 機能の同時利用は可能ですが、速度が遅いなどの影響が出る可能性があります。

### 無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
● 通信内容を盗み見られる
 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 メールの内容
 等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
● 不正に侵入される
 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、暗号化キーは初期値から変更してください。

### 本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

#### 電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz）および IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯で使用するチャンネルは 36,40,44,48ch (W52) と 52,56,60,64ch (W53) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56) です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
  - W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)、W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)、W56 (5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

- 5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。
  - W52 (5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch)
  - W53 (5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch)
  - W56 (5.6GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)
- W53(52/56/60/64ch)または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - 各チャンネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時および Bluetooth 機能を用いた通信利用時、リモート起動設定した休止状態では、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  - 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか (IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時のみ)、使用場所を変えるか、または機器を電源 OFF (電波の発射を停止) にしてください。
  - その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙「お問い合わせ・アフターサービス」記載のお客様相談窓口にご連絡ください。
- すべての Bluetooth 機器との接続を保障するものではありません。
- 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、移動体識別装置の帯域が回避可能ですが、Bluetooth 使用時は移動体識別装置の帯域を回避不可能です。変調方式として DS-SS 方式、OFDM 方式および FH-SS 方式を採用しており、干渉距離は、DS-SS 方式および OFDM 方式で 40m、FH-SS 方式で 10m です。

IEEE802.11b/g/n	
2.4DS4/OF4/FH1	
2.4	:2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS4	:DS-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
OF4	:OFDM 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
FH1	:FH-SS 方式で想定される干渉距離が 10m 以下であることを示す
<span>■</span> <span>■</span> <span>■</span>	:全帯域を使用し、かつ本商品としては移動体識別装置の帯域を回避不可能であることを示す

- 本商品は 2.4GHz 帯で使用し、チャンネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として、CH1、CH6、CH11 のいずれかに行うことを推奨します。」ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1、CH6、CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャンネルの設定方法は、「ユーザーズマニュアル」を参照してください。）

### データ通信端末の比吸収率（SAR）について

この機種 MRO5LN は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定められており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合の SAR の最大値は 0.843W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。
通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページを参照してください。
https://www.who.int/peh-emf/en
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。
総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人　電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html
NECプラットフォームズ（株）のホームページ
https://www.aterm.jp/mobile/info/mro5ln/index.html
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の2）で規定されています。

### 電波障害自主規制について

<p>この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。</p>	<b>VCCI – B</b>
--	-----------------


### リチウム系電池輸送規制について

本商品は、リチウムイオン電池を使用しています。本商品とリチウムイオン電池を組み込み、または同梱して輸送する場合は、輸送会社に「リチウムイオン電池を含んだ内容物」であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。法令に基づく表示等を行わないで、空輸、海上輸送を行いますと、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

### 輸出する際の注意事項

- 本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。
- 本製品の輸出および再輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、本製品の入手元にご相談ください。

<span>■</span>	Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
<span>■</span>	Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi Direct、Wi-Fi ロゴ、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPA および WPA2 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
<span>■</span>	Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
<span>■</span>	その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
<span>©</span>	NEC Platforms, Ltd. 2016-2019

	<b>ケケン!</b> 濡れた状態での充電は、異常発熱などの原因となり大変危険です。
---	--